



西小倉保育所の園児たち

# 新しい時代へさらなる飛躍を

市議会議長 野上 清一



市民の皆さん、明けましておめでとうございます。平成四年の輝かしい新春を迎え、市議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年四月、市民の皆さんの信託を受けて、当選した三十二人の議員による新たな議会は、住民の代表機関として市民の皆さんのご意思を市政に反映し、行政とともに市政の両輪としての役割を果たしてまいりました。

昨年は、市制施行四十周年の記念すべき年に当たり、第一回紫式部文学賞・同市民文化賞などの文化的事業や、市民要望の強い大型都市基盤整備事業が進められました。市民の皆さんの温かいご理解とご協力のたまものと、深く感謝申し上げます。

本年は新庁舎が完成いたしますが、さらに植物公園、墓地公園建設などの都市整備が進んでまいります。また、ふるさと創生事業として花開いた文化を大きく育て、国際交流を積極的に図り、二十一世紀を目指した文化国際都市のまちづくりを推進するため、議決機関として、市民の皆さんのご意見・ご要望を反映してまいります。一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新年のごあいさついたします。

市長 池本 正夫



## 新年のごあいさつ

明けましておめでとうでございます。市民の皆さんには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。市制施行四十周年の昨年は、京都みどりの祭典（第四十二回全国植樹祭）や第一回紫式部文学賞・同市民文化賞をはじめ各種のイベントを開催し、またJR六地蔵新駅や植物公園など都市機能の整備に着工し、新時代にはばたく節目の年でございました。

国際化・情報化・高齢化が進む中、本年は第三次総合計画に基づき、社会のニーズ、市民の要望に沿った計画行政を推進し、恵まれた自然・歴史・文化に支えられた「みどりゆたかな、住みたい、住んでよかった都市」の実現に向けて、これまでにも増して積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

この春には、いよいよ、市民サービスのより一層の充実を目指して建設してまいりました市役所新庁舎も完成する予定でございます。今後この庁舎を、京都南部の中核都市にふさわしい二十一世紀を展望した市政の拠点として、諸施策を推進してまいりたいと考えております。市民の皆さんの変わらぬご理解を賜りますようお願い申し上げます。



# 親愛なる Dear



固い握手を交わす池本市長と3市の代表(3年5月26日)

## カナダの冬はスポーツ盛り

日本の人は  
薬の飲み過ぎ!

「仕事に慣れましたか?」  
「ええ、今は楽しみながらやっています。みんな、英語に強い関心を持ってくれるので、とてもうれしい。生徒たちには、英語が上手でなくても、もっと声を掛けてほしいですね。それが上達への道なんですから」  
—宇治で、気に入った場所はありませんか?—

「一年の計は元旦に  
あるけれど」

「カナダの冬休みは長い  
んですか?」

「カナダの子供は  
外で遊ぶのが大好き」

「家の中では?  
テレビゲームに人気がある」

「将来はどんな  
夢をお持ちですか?」

「どうもありがとうございました」

「皆さんいろいろな所で遊んで打ってもらい、この間は「潮氏ろまん」のスタンプラリーにも参加しました。私から見れば、日本の人は薬の飲み過ぎですね」  
—宇治のまちで、何か気になる点はありませんか?—  
「クリスマスを中心にして、十二月十八日から一月三日までの「週間」です」  
—元旦の行事は?—  
「今年、年の目標を立てることでいいですね」  
—それは日本も同じ。でも、その目標がなかなか達成できません」  
「それはカナダでも同じですね(笑)」  
—冬の一番の行事は、やはりクリスマスですか?—  
「ええ。親元を離れている人も帰って来て、教会へ行くたりお祝いをしたり、一番盛りだくさんですね。ごちそうはやはり七島料理です」  
—日本のお年玉にあたるようなものがありますか?—  
「クリスマスプレゼントをする時に、同じ物が重なり

「カナダでは、冬のスポーツが盛んでしょ?」  
「ええ。特にアイスホッケーは、見るのも、やるのも盛んで、五歳ぐらいの子供から親しんでいます。庭に水をまいてスケート場を作り、子供を有名人に育てた人もいますよ」  
—そのほかには?—  
「スキーは、ゲレンデもたくさんあります。でも、カナダの子供たちは、外で遊ぶのが一番好きですよ」  
—最後に、将来はどんな夢をお持ちですか?—  
「天学では経営学を学び、日本式の経営も勉強したいと思っています。それから、カナダに帰って来たら、日本で学んだことを活かしたいと思っています」

「どうもありがとうございました」

「どうもありがとうございました」

「どうもありがとうございました」

「どうもありがとうございました」



デイヴィッド・W・ギルドさん (23)

カナダ・カムループス市出身  
昨年9月から、英語指導助手として市内中学校を巡回指導中 宇治一番在住

「どうもありがとうございました」

「どうもありがとうございました」

「どうもありがとうございました」

「どうもありがとうございました」

**スリランカ**  
**ヌワラエリヤ市**  
〈昭和61年4月12日締結〉

咸陽(かんよう)市はの北西に位置し、面積人口約430万人の都市を持っています。軽工業が盛んな一方、中国又地の一つとしても有名人の墓も現存しています

ヌワラエリヤ市は、スリランカ中南部の山岳地帯に位置し、人口は約2万人、高級紅茶の生産地として知られています。また、古くからの避暑地としても有名な都市です。

## スリランカのことを もっと知ってほしい

本日は親切な  
日本人

「来日のかげは?  
「勤めていた水産研究所から、研修で日本に来ました。その時、東京の先生に出会ったので、もっと勉強したくて留学したんです。もう六年になります」  
—それで日本語が上手なんでしょう?—  
「前はまだ日本語が聞き取れない状態でしたが、今は聞き取れるようになりました」  
—本や新聞で、ある程度は知っていました。工業製品は日本製のものが多いし。でも、女の人はほとんど和服を着ていると思っていました(笑)」  
—来てみた印象は?—  
「最初、日本人はなかなか打ち解けないと思った。毎朝、同じバスで顔を合わせても、あいさつ、スマイルしないですよ」  
—なるほど。—  
「でも、話してみるとそんなことはない。それどころか、初対面の人にも

「来日のかげは?  
「勤めていた水産研究所から、研修で日本に来ました。その時、東京の先生に出会ったので、もっと勉強したくて留学したんです。もう六年になります」  
—それで日本語が上手なんでしょう?—  
「前はまだ日本語が聞き取れない状態でしたが、今は聞き取れるようになりました」  
—本や新聞で、ある程度は知っていました。工業製品は日本製のものが多いし。でも、女の人はほとんど和服を着ていると思っていました(笑)」  
—来てみた印象は?—  
「最初、日本人はなかなか打ち解けないと思った。毎朝、同じバスで顔を合わせても、あいさつ、スマイルしないですよ」  
—なるほど。—  
「でも、話してみるとそんなことはない。それどころか、初対面の人にも

「来日のかげは?  
「勤めていた水産研究所から、研修で日本に来ました。その時、東京の先生に出会ったので、もっと勉強したくて留学したんです。もう六年になります」  
—それで日本語が上手なんでしょう?—  
「前はまだ日本語が聞き取れない状態でしたが、今は聞き取れるようになりました」  
—本や新聞で、ある程度は知っていました。工業製品は日本製のものが多いし。でも、女の人はほとんど和服を着ていると思っていました(笑)」  
—来てみた印象は?—  
「最初、日本人はなかなか打ち解けないと思った。毎朝、同じバスで顔を合わせても、あいさつ、スマイルしないですよ」  
—なるほど。—  
「でも、話してみるとそんなことはない。それどころか、初対面の人にも

「来日のかげは?  
「勤めていた水産研究所から、研修で日本に来ました。その時、東京の先生に出会ったので、もっと勉強したくて留学したんです。もう六年になります」  
—それで日本語が上手なんでしょう?—  
「前はまだ日本語が聞き取れない状態でしたが、今は聞き取れるようになりました」  
—本や新聞で、ある程度は知っていました。工業製品は日本製のものが多いし。でも、女の人はほとんど和服を着ていると思っていました(笑)」  
—来てみた印象は?—  
「最初、日本人はなかなか打ち解けないと思った。毎朝、同じバスで顔を合わせても、あいさつ、スマイルしないですよ」  
—なるほど。—  
「でも、話してみるとそんなことはない。それどころか、初対面の人にも

「来日のかげは?  
「勤めていた水産研究所から、研修で日本に来ました。その時、東京の先生に出会ったので、もっと勉強したくて留学したんです。もう六年になります」  
—それで日本語が上手なんでしょう?—  
「前はまだ日本語が聞き取れない状態でしたが、今は聞き取れるようになりました」  
—本や新聞で、ある程度は知っていました。工業製品は日本製のものが多いし。でも、女の人はほとんど和服を着ていると思っていました(笑)」  
—来てみた印象は?—  
「最初、日本人はなかなか打ち解けないと思った。毎朝、同じバスで顔を合わせても、あいさつ、スマイルしないですよ」  
—なるほど。—  
「でも、話してみるとそんなことはない。それどころか、初対面の人にも

「来日のかげは?  
「勤めていた水産研究所から、研修で日本に来ました。その時、東京の先生に出会ったので、もっと勉強したくて留学したんです。もう六年になります」  
—それで日本語が上手なんでしょう?—  
「前はまだ日本語が聞き取れない状態でしたが、今は聞き取れるようになりました」  
—本や新聞で、ある程度は知っていました。工業製品は日本製のものが多いし。でも、女の人はほとんど和服を着ていると思っていました(笑)」  
—来てみた印象は?—  
「最初、日本人はなかなか打ち解けないと思った。毎朝、同じバスで顔を合わせても、あいさつ、スマイルしないですよ」  
—なるほど。—  
「でも、話してみるとそんなことはない。それどころか、初対面の人にも

「来日のかげは?  
「勤めていた水産研究所から、研修で日本に来ました。その時、東京の先生に出会ったので、もっと勉強したくて留学したんです。もう六年になります」  
—それで日本語が上手なんでしょう?—  
「前はまだ日本語が聞き取れない状態でしたが、今は聞き取れるようになりました」  
—本や新聞で、ある程度は知っていました。工業製品は日本製のものが多いし。でも、女の人はほとんど和服を着ていると思っていました(笑)」  
—来てみた印象は?—  
「最初、日本人はなかなか打ち解けないと思った。毎朝、同じバスで顔を合わせても、あいさつ、スマイルしないですよ」  
—なるほど。—  
「でも、話してみるとそんなことはない。それどころか、初対面の人にも

「来日のかげは?  
「勤めていた水産研究所から、研修で日本に来ました。その時、東京の先生に出会ったので、もっと勉強したくて留学したんです。もう六年になります」  
—それで日本語が上手なんでしょう?—  
「前はまだ日本語が聞き取れない状態でしたが、今は聞き取れるようになりました」  
—本や新聞で、ある程度は知っていました。工業製品は日本製のものが多いし。でも、女の人はほとんど和服を着ていると思っていました(笑)」  
—来てみた印象は?—  
「最初、日本人はなかなか打ち解けないと思った。毎朝、同じバスで顔を合わせても、あいさつ、スマイルしないですよ」  
—なるほど。—  
「でも、話してみるとそんなことはない。それどころか、初対面の人にも

「来日のかげは?  
「勤めていた水産研究所から、研修で日本に来ました。その時、東京の先生に出会ったので、もっと勉強したくて留学したんです。もう六年になります」  
—それで日本語が上手なんでしょう?—  
「前はまだ日本語が聞き取れない状態でしたが、今は聞き取れるようになりました」  
—本や新聞で、ある程度は知っていました。工業製品は日本製のものが多いし。でも、女の人はほとんど和服を着ていると思っていました(笑)」  
—来てみた印象は?—  
「最初、日本人はなかなか打ち解けないと思った。毎朝、同じバスで顔を合わせても、あいさつ、スマイルしないですよ」  
—なるほど。—  
「でも、話してみるとそんなことはない。それどころか、初対面の人にも



# さる年ファミリー登場



前列右から、圭一くん・友美ちゃん・貴彦くん、後列右から、周一さん・美智子さん・茂夫さん・允紀くん・幸子さん

いつもは子供の寝顔しか見られない、忙しいお父さんの周・さん(三)の今年の目標は「週一回は家庭サーブをする事」。子育て真っ最中のお母さんの幸子さん(五)の目標も「子供たちと一緒に遊んであげる事」という、家庭的なさる年のご夫婦は、結婚されたのもさる年。

「マラソン大会で三キロ走ったよ」という圭一くん(一)の夢はマラソン選手。そして貴彦くん(八)の夢は野球選手。「西武が好き。だって強いもん」。コーラスが好きな友美ちゃん(五)も、「幼稚園は

## 「ふれあいと健康を大切に」 宇治が大好き家族・内村さんご一家 (広野町宮谷)

一日も休んでないよ」と元氣一杯。允紀くん(二)が月の命名は「紀子さんの一字をもらって、元氣な子供になるように」と付けましたとお父さん。

内村さんご一家は、平成二一年に宇治市へ転入。宇治を選んだのは環境がいいから。毎日、宇治川まで歩いていきますというおじいちゃん茂夫さん(三)の趣味はビデオ撮影。今のテーマは九紀くんとか。公民館の書道サークルに入っておられるおばあちゃん美智子さん(七)もさる年。これからは、いろんなことに挑戦したい」と意欲満々です。

環境に恵まれ、元氣に育つ子供たち。やさしく見守る皆さんの願いは、やはり「家族そろって健康に過ごすこと」。今年もいい年でありますように!



右から、則夫さん・友希ちゃん・健介くん・晴美さん

## 「私たち、スポーツ大好き」 いきいき健康家族・秋山さんご一家 (菟道丸山)

「私がさる年生まれ。この子もさる年に生まれて、家の中に三匹さるがいてと縁起がいいと聞き、さるの絵の焼き物を作ってもらいました。

お母さんの晴美さん(五)と健介くん(二)がさる年の秋山さんご一家。お父さんの則夫さん(七)と健介くん・友希ちゃん(九)がソフトボール、晴美さんがバレーボールのチームに所属していらつしやる活動的なご家族です。

健介くんのチームは、京都府の秋季大会で優勝したこのことで、健介くんの将来の夢は「プロ野球の選手になるこ

と」。それでは友希ちゃんも? 「わからへん」。まだ小学三年生だもんね。ご両親は、二人がスポーツを通じて礼儀正しく育つことを、願っておられます。

宇治市に住んで九年。住み心地はどうですかとお聞きすると、「ここらへんは交通の便もいいし、自然にも恵まれていて住みやすいですね」と則夫さん。晴美さんは「宇治は文化、スポーツ活動が活発。これからもますます盛んになっていけばいいですね」と話してくださいました。

ご家族の今年の抱負は「毎年同じですが、みんなが健康で過ごすこと」。体を動かすのが大好きな、明るい秋山さんご一家なら、きっと大丈夫。今年もいい年になりますように!



お正月は、みんなそろって、ゲームを楽しみましょう(写真撮影には、中宅正啓さんご一家、福留啓勝さんご一家、吉田廣昭さんのご協力をいただきました)

## お正月はみんなで遊ぼう

# ゲーム『はた迷惑』

お正月は、みんなが集まる機会が多いもの。そんな時には、ゲームをして遊びませんか。家族や友達とのスキンシップを深める、楽しいゲームをご紹介します。みんなで一度、お試しください。

- 人数 五人以上
  - 用意する物 硬貨(何円玉でもOK)：一個、飲み物(お茶・ジュースなど)、大人ならお酒でも：適宜、コップ：人数分。
  - 遊び方
    - 1 鬼を決め、ほかの人は、鬼のまわりに、両隣の人に手が届く範囲で、輪になって座ります。
    - 2 輪になった人は、左手は、このひらを上にして左ひざの上に、右手は、硬貨をつまむ形にして左手の上に置きます。(写真A)。
    - 3 鬼は、だれの左手の上に硬貨を置きます。
    - 4 輪になった人は「茶つみ」の歌を歌いながら、右手で右隣の人の左手に硬貨を置く(左手A)。
    - 5 硬貨を取る(形(写真B)と、◎の形(写真A)とを繰り返します(左手は動かさない)。
    - 6 硬貨を持っていない人は、この動作に合わせて、左右どちらかへ硬貨を送ります。受け取った人も同様で、左右どちらかへ送ります。鬼は、移動する硬貨の行方を見失わないようにします。まわりの人は、上手に鬼の目をくらますようにします。
    - 7 鬼は「Aさんの右手」「Bさんの左手」と硬貨の場所を当てます。一回で当たれば硬貨を持っていった人が、二回目で当たれば持っていた人の隣の人(◎)から側にするかは初めに決めておく)が、三回目で当たれば持っていた人の二人隣の人(◎)が、飲み物を飲む人が、飲み物を飲むとき(四～五回)で当たれば、鬼が飲み物を飲む、その時硬貨を持っていった人が次の鬼になります。
    - 8 三回(大勢のときは四～五回)で当たれば、鬼が飲み物を飲む、その時硬貨を持っていった人が次の鬼になります。
- ※宇治市レクリエーションサークル代表・中宅正啓さんに指導していただきました。

